

令和2年度 第1回南北海道定住自立圏共生ビジョン
懇談会（書面開催）結果

1 書面開催期間 令和2年10月22日（木）から
令和2年11月 2日（月）まで

2 書面協議結果

(1) 座長の選任について

お示しした事務局案に対し、可が12票、否が0票により、古地委員が選任され、就任についてご承諾をいただきました。

なお、副座長につきましては、座長から尾山委員が指名され、尾山委員へ確認の結果、就任のご承諾をいただきましたので、尾山委員にお願いすることとなりました。

(2) 第2次南北海道定住自立圏共生ビジョン第2回変更（案）について

各委員からのご意見等およびこれらに対する事務局の回答は次のとおりです。

意見等	回答
<p>P28</p> <p>【「7 具体的取組内容と成果指標」中、(2) 結びつきやネットワークの強化】</p> <p>ウ 地域内外の住民との交流・移住促進</p> <p>①圏域における国際化の推進事業名およびK P I の変更について</p> <p>【意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K P I として、「技能実習」の人数が設定されているが、この指標では、技能実習生を増加させる意志があるように見えるがそうなのか。 <p>また、事業名の「外国人住民</p>	<p>技能実習生の増加につきましては、増加させる意志に関わらず、急速な人口減少により、企業等における人手不足が深刻化していることから、今後も増加傾向が続いていくと考えられます。</p> <p>ご意見を踏まえ、受入体制の整備として適切な K P I を改めて検討する必要があると考えることから、今年度の変更は見送ることといたします。</p> <p>なお、今回の変更見送りに伴い、懇談会資料として配付しておりました、(資料3)「南北海</p>

<p>受入体制の整備」に関して、技能実習生が適切なK P Iかと疑問もあり、これまでの「留学生」についても同様である。</p> <p>改めて「受入体制の整備」とは何を意味し、適切なK P Iは何かを考える必要があると考える。</p> <p>例えば、生活オリエンテーションの実施回数、生活相談窓口相談件数、医療通訳件数などが考えられるが、今年度新たなK P Iの設定が難しい場合には、これまでのK P Iを維持しつつ、来年度への変更に向けた検討を行うことも可能と考える。</p>	<p>道定住自立圏連携事業の進捗状況等」について、当該事業の事業名およびK P Iを修正したものを送付いたします。</p>
<p>P34</p> <p>【「9 共生ビジョン事業一覧」中、「理学療法士および作業療法士の養成支援<令和2年度新規掲載事業>】</p> <p>【意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八雲町の事業費の金額が大きいが、どのような積算で算出された金額なのか。 	<p>八雲町再確認したところ、当該事業に対する事業費ではなかったことから、同町の事業費は削除し、合計欄を修正するとともに、P19, 44に記載されている事業費の額を修正いたしました。</p>